

平成17年度 松本筑摩高等学校(定時制課程夜間部)学校自己評価表

学校番号	81	長野県筑摩高等学校定時制課程夜間部
------	----	-------------------

1 目 標

夜間定時制教育目標	重点目標(中長期的目標)	総 合 評 価				
(夜間定時制教育目標) 1. 自ら学び、自立して生きる力をつける 2. 勤労を尊び、規律を守る態度を養い、社会に貢献できる人となる。 3. 地域社会の信頼に応える開かれた学校のもと、生徒と教師が共に研鑽し豊かな人間性を育む	<ul style="list-style-type: none"> 基礎基本の定着と単位修得率の向上 地域、企業からの信頼を得る人間の育成 開かれた学校づくり 教職員の教育力・資質の向上 	課題を残しながらも学習習慣や基本的生活規律は身に付いてきた。卒業後の生活イメージについてよりいっそう個別指導を強めながら、進路保障、開拓に努めたい。				
	平成17年度の重点目標	成果と課題	A	B	C	改善策・向上策
	<ul style="list-style-type: none"> 基礎学力の定着 生徒会・部活動の充実 地域への学校公開 	<ul style="list-style-type: none"> 少しずつではあるが前進が見られる。 				<ul style="list-style-type: none"> 生徒とともに「どういう学校にしたいか」という議論を深めることが求められている。

2 活動領域

領域	対象	評価項目	評価の観点	成果と課題	A	B	C	改善策・向上策
教育活動	教育課程	二期制(分割認定)の検証	授業日数は確保できたか	<ul style="list-style-type: none"> 単位制というメリットが生かされた面も確認できた一方、単位修得を諦めた生徒の指導が課題である。 				<ul style="list-style-type: none"> 生徒の学力実態についての理解、検討をいっそう深め、生徒に身に付けてほしい学力の中身を明確にしていきたい。
		<ul style="list-style-type: none"> 学校設定科目の検討 多様な単位取得方法の検討 	<ul style="list-style-type: none"> 単位修得者は増えたか 科目に生徒は満足しているか 午後部や大検等積極的な取り組みができたか 					
	学習指導	<ul style="list-style-type: none"> ドリル学習の実施 総合的な学習の時間の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒に定着したか 全職員が協力して指導したか 生徒が意欲的に取り組んだか 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒自身が参加の意欲を高めるような工夫が必要である。 				<ul style="list-style-type: none"> アンケートなどにより生徒の要望を把握し直す。
教育活動	生徒指導	生徒指導方針の検討	指導方針に対する生徒・保護者の理解・協力が得られたか	<ul style="list-style-type: none"> ひとりひとりにきめの細かい指導を行ってきた。 				<ul style="list-style-type: none"> 上下履きの区別などについては、生徒会係との連携も深めながら粘り強く指導してゆく。
		<ul style="list-style-type: none"> 交通安全指導の実施 基本的生活習慣の定着 	<ul style="list-style-type: none"> 通学方法を的確に把握し、安全指導に役立てたか 上下履きの区別ができたか 					
	進路指導	<ul style="list-style-type: none"> 進路希望調査の実施 進学、就職の情報提供 進路相談と進学、就職指導 	<ul style="list-style-type: none"> 年次にあった希望調査をしたか 適切な情報提供ができたか 個別に面接・作文・小論文指導などの対応ができたか 	<ul style="list-style-type: none"> 求人票コーナーを設けるなど情報提供や意識の向上が進んだ。 				<ul style="list-style-type: none"> 進学・就職とも、早い段階からの指導、啓発が求められる。
教育活動	クラス運営	生徒別の履修登録指導	単位習得の実態に即し、個別に対応できたか	<ul style="list-style-type: none"> 保護者との連絡等はこまめに行い、家庭の状況をかなり正確に掴むことができた。 				<ul style="list-style-type: none"> HRづくりは時間的にも困難をきわめるが、集団活動に参加できる資質を高める必要がある。
		<ul style="list-style-type: none"> LHR計画の作成 保護者懇談の充実 	<ul style="list-style-type: none"> クラスごとの計画を立案したか 保護者との連携を密にしたか 					
学校運営	生徒会等	<ul style="list-style-type: none"> 文化祭発表展示の充実 諸行事運営方法の検討 部活動の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 多くの生徒が取り組んだか 執行部、委員会が機能したか 日常の練習・活動を効率的に行い、大会・文化祭で成果が発揮されたか 	<ul style="list-style-type: none"> 参加生徒は限られているが、いろいろな制約の中でよくやった。 				<ul style="list-style-type: none"> 生徒会の日常活動を活性化させる方策を考えなければならない。
		研修	<ul style="list-style-type: none"> PTA研修 職員研修 	<ul style="list-style-type: none"> PとTの連携に役立ったか 資質向上に役立ったか 	<ul style="list-style-type: none"> 職員研修は質量とも高まった。 			
	組織運営	<ul style="list-style-type: none"> 校務分掌の適正化 書類、情報の管理 	<ul style="list-style-type: none"> 分掌の合理的な運営ができたか 文書、データ等を効率よく管理できたか 	<ul style="list-style-type: none"> 全員の協力や態勢が強まった。 				<ul style="list-style-type: none"> さまざまなデータ管理の見直し、整備が求められている。
学校運営	地域連携	<ul style="list-style-type: none"> 保護者、中学校、地域への学校公開 	<ul style="list-style-type: none"> 多くの人に公開できたか 	<ul style="list-style-type: none"> 一斉の学校公開のほかに、個々の見学要望に対して、ていねいに応じた。 				<ul style="list-style-type: none"> 学校評議員の見学を要請しているが実現していない。
		<ul style="list-style-type: none"> 学校評議員会との連携 	<ul style="list-style-type: none"> 外部の意見を採り入れたか 					